

# 令和5年度 授業改善推進プラン 図工科

## 1 課題点

### 【低学年】

- ① のりの扱いに関してまだ思うように使えない児童が見られた。
- ② 絵の塗りや描きの雑さや甘さがある。
- ③ 紐を結ぶ（堅結び、ちょうちょむすび）ができない児童が多くいる。

### 【中学年】

- ① イメージを広げることが苦手で友達や参考作品を同じようにつくる児童がいる。
- ② さいごまで粘り強く取り組み、仕上げたいという思いが低い児童がいる。

### 【高学年】

- ① 絵の具をはじめとした画材をまだ一部、思うように使いこなせていない児童が見られる。  
工作の出来上がりの見通しをもってサイズを切るなどできない児童がいる。

## 2 授業改善策

### 【低学年】

- ① のりやはさみなどの活動の時間を多くとり、道具の使い方に慣れさせる。
- ② 丁寧にきれいにつくると楽しいという題材を用意する。またきれいに作りやすい材料を用意する。
- ③ 指の力を使った紙工作や、ひも結びなど指を使って行う授業を組み込む。

### 【中学年】

- ① 物の変化から思いつくような題材を使い、自分の中からおもしろいものを見つける授業を行う。
- ② 短時間からの集中を目指して、子どもの中で集中できた達成感を味合わせ、自ら集中できるようにしていく。材料や技法、道具の面白さや新鮮な気持ちを生かし、小さな作品からしっかり仕上げる感覚を養い、大きな作品でも取り組めるよう順を追って行う。

### 【高学年】

- ① 個人的に練習プリントなどを与え、基礎的な感覚を育てるようにする。  
なるべく多く手を動かす時間をとれるようにし、繰り返し練習を多くする。
- ② 造形遊びや紙工作などの活動を取り入れ、体で大きさの感覚を持つ感覚を育てる。  
自分の作るサイズを必要なことは何かを考えさせ、主体的に取り組めるように工夫する。